「わあー、すごい」

ミニSLに園児の歓声

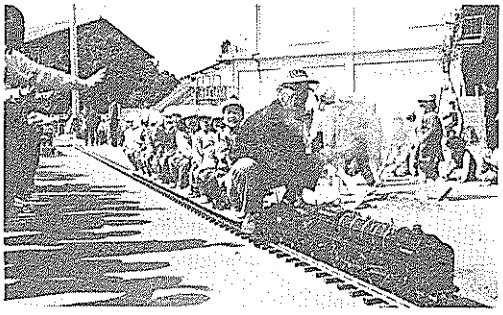
シュシュポッポーと本物そっくりの蒸気機関車――後免野田保育所（加藤光子所長）で三月二十一日、手作りのミニSLに園児が乗って楽しみました。

機関車を持って訪ねてくれたおじさんは、高知市に住む六十五歳の松井義喜さん。先日も高知市内の保育園へ訪問し、子どもたちに夢を運んでいるおじさん。

機関車は『プリタニア号』といって、松井さんの三作目。部品はシリンダーから全て手作り、五年をかけてできたもので、費用は材料費だけで約四百万円かかっていますが、労力をプラスしたら大変なもの。燃料は石炭で、力も強く四百キログラムぐらいは楽々運べます。本物そっくりに作るため、わざわざイギリスまで行って設計図を手に入れたというマニアです。

園庭に線路が敷かれ、用意ができると、園児が部屋から飛び出し、煙をはいている蒸気機関車を見て「わあ――、すごい」と歓声が沸きました。そして、三輌の台車に年少組から順番に乗り、園児は大喜び、父兄の方もいっしょに乗って童心に帰って楽しんでいました。

SLに乗って喜ぶ園児



消火器の押し売りに

気をつけよう

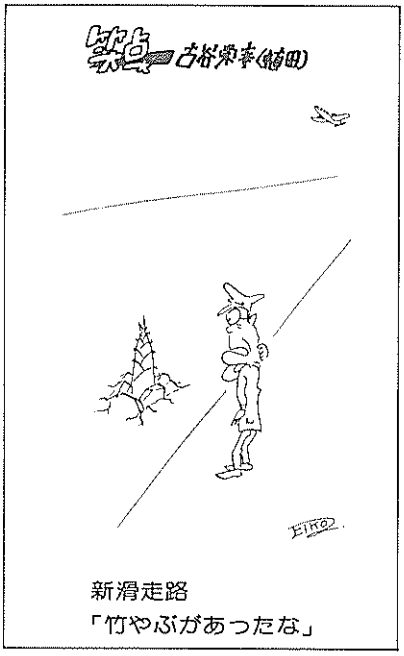
消火器の訪問押し売りが、最近また横行しているとの話を聞きます。

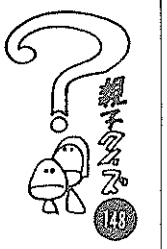
「消防署からですが……」などと言って売っているようです。消火器を持っている家庭には、消火器を出させて「この消火器は古いので効力がない」とか「薬が古くなっているので詰め替えないといけない」とか言って売り歩いているようですが、消防署や消防団では、そのような行為はしていません。

消火器には国家検定合格証がはられています。この消火器であれば、著しい変化のない限り効力は失われません。学校、病院、ホテル、スーパーマーケット、工場などの消火器については五年に一回の検査が義務付けられていますが、一般家庭ではその必要がありません。消火器は天ぷら油、石油ストーブ等の火災の初期消火に大変効力があり、各家庭に一本は備えて初期消火に役立てて欲しいものですが、どうしても備えていなければいけないと義務付けてはいません。

消火器を購入される場合は、地元の消防団に依頼されるか、信用のある販売店でお買い求めください。わからないことや不審な点がありましたら、遠慮なく消防署（☎63-3511）まで連絡してください。

【南国消防署予防係】





ご家庭で話し合って答えてください。答えは、この広報に出ています。

■もんだい・五月九日から市役所で、第四回○○○○が開かれます。

■しめきり・4月15日

■あて先・〒783　南国市大埔甲2301　南国市役所内広報委員会親子クイズ係

答えのハガキには必ず、住所、部落名、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第147回正解者発表（敬称略）

（応募総数38通）

■答え・香長中

■特賞・千円＝三人

野村悦子（物部）

沢田明彦（三畠）

浜田佳子（福生）

■残念賞・記念品＝五人

矢野さおり（篠原）遠藤末子（後免）大崎保洋（福生）吉岡孝浩（甲枝）森本敏子（大埔）